

# 平成 27 年度事業報告

## 1. 概要（理事長：長谷川 演）

ひとまず、2年の任期が終わります。

まずは、JCDを身を持って知ると言う目標は達成できました。

デザインアワード、SODA、シンポジウム、国際交流、プロダクトアワード e t c と、それぞれの今とこれからを感じつつ、次へのステップのための助走期間。

準備は整いました。しっかりと次へ進みます。

## 2. 各事業の報告

### (1) デザイン賞委員会（委員長：笠原英里子）

JCD デザインアワード 2015 は、史上 2 番目の応募総数となり 512 点もの数に上った。うち海外からは 91 点の応募があり 2 割弱が海外からの応募という結果になっている。国別では台湾、香港、中国、韓国である。

昨年同様 1. ショップ空間 2. 食空間 3. 大規模空間 4. サービス・エンターテイメント空間 5. 文化・公共コミュニケーション空間 6. 公共生活空間の 6 部門別でインターネットによって作品を募集。

一次審査は審査員 27 名のネット審査によって BEST100 の作品 104 点を選出。二次審査は 7 月 4 日東京デザインセンターにて公開審査という形式で行われた。審査員は橋本夕紀夫を審査委員長とし小坂竜、JCD 外部からは木田隆子、谷川じゅんじ、永山祐子、服部滋樹、水野誠一各氏にお願いした。まず BEST100 から銀賞以上 27 作品を部門別に選出、そのなかからさらに金賞以上 7 作品を選んだ。最終選出では長時間に及ぶ白熱した議論の末、大賞該当作品はなし、準大賞 3 点という異例の結果となった。また今年は金賞には台湾のデザイナー、銀賞には台湾、香港のデザイナーと 3 名の海外作品も入っている。

贈賞式は 2015 年 11 月 13 日国際文化会館岩崎小彌太記念ホールで執り行われた。引き続き行われたデザインメッセージでは鈴木重則氏、水谷壮市氏、谷尻誠+吉田愛氏、木田隆子氏、飯島直樹氏の 5 名でトークセッションを繰り広げた。終了後は出席者全員での立食パーティー交流会を行っている。贈賞式への参加者は約 150 名。贈賞式には台湾と香港からも受賞者が出席している。

### (2) コミュニケーション委員会（委員長：窪田 茂）

#### 1. シンポジウム委員会（委員長 窪田茂）

SECTION57 の開催

2016 年 3 月 10 日、ヴィジュアルデザインスタジオ WOW のトップクリエイティブディレクター 於保浩介氏と UI ディレクター 森田考陽氏をお招きし、TOTO テクニカルセンター（新宿）にて、シンポジウムを開催しました。テーマは「ビジュアルデザインと空間の

可能性」で、150人近い人にご来場頂きました。映像という二次元のものから、三次元への挑戦など、発想のブレイクスルーからその方法など、WOWの今までの躍進への作品から、最近の作品までを通したプレゼンテーションは、非常に刺激的な内容でした。ご来場いただいた方々もバラエティに富んでおり、また、非常に好評を頂きました。今回は会場をTOTO様から無償でお借りできた事、協賛会社様が数多く集まって頂いた事で、入場料無料で懇親会付きにしたにも関わらず、利益が出るという結果となりました。

## 2. 出版委員会（委員長 古川紳太）

### SHOKANKYO083の発刊

本年度は、デザインアワードの応募に海外勢が多かった事に始まり、様々な海外での活動がありましたので、SHOKANKYO083では、「JCDのグローバル化」をテーマにまとめ、発刊致しました。巻頭には、本年度にJCD正会員になられたグエナエル・ニコラ氏のインタビュー。彼の圧倒的なパワーと発想力、行動力を感じる事ができるインタビューとなりました。

また、グローバル化については、アワードの海外勢の報告、APSDA（アジア環太平洋インテリアデザインアライアンス）との、フランス（パリ）やシンガポールでの活動報告、メゾン・エ・オブジェ パリでのJCDのプレゼンテーションなど、JCDの海外交流の記事をまとめました。

今回より、SHOKANKYOをフルカラー印刷に変えました。今までのアワードの記事などが白黒だったのに対し、カラーになった事で作品の素晴らしさが伝わるようになったと思います。今後もこの方針で続けていきたいと思いますが、予算的には厳しい状況が続くそうです。

## 3. 広報委員会（委員長 飯島直樹）

今年度の広報活動は、特にFaceBookの活用を行いました。JCDのFBページを立ち上げた事で、正会員以外の人々もFBメンバーに入って頂けるなど、想像以上にJCDの活動に興味を持っていただいている方がいるという事を知りました。同様に、様々な活動報告や、イベント案内などにも効果があったと思われます。

次に、賛助委員会のカテゴリー分け（一般、教育、デザイン会社）をした事で、少しずつではありますが、JCDにご理解を頂き、賛助会員が増えております。

今後も、JCDアワードの国際化、世界での認知度の向上を進め、アワードの応募数の増加、アワードの信頼性の向上、受賞作品の雑誌への掲載などに繋げていきたいと考えます。同様に正会員、賛助会員の強化にも努めたいと思います。

## （3）国際委員会（委員長：武石正宣）

今年度の国際委員会の活動を報告致します。

今年度はAPSDAの動向確認、および各国のチェアマンに対するJCDのデザイン賞に対する応募のプロモーション。そして次期イーストギャザリングに対する取り組みが主なものとなりました。

APSDA の動向確認。

11月に行われた、マレーシア、クアラルンプールの会議にて、開催国のマレーシアから、APSDA をアライアンスから、アソシエーション（協会）に移行する具体的な提案がありました。この提案は、2年に一度で、次は来年に行われる、オーストラリア、アデレードの APSDA の大会の中の会議にて採決が行われます。

またこの3月にシンガポールで行われるメゾン・エ・オブジェの中でチェアマン会議が行われるので、長谷川理事長、笠原デザイン賞委員長が出席し、九月に行われるアデレードの大会の議題調整と JCD デザインアワードに対する応募のプロモーションを行います。

#### JCD デザインアワードの国際化

9月に行われましたメゾンエオブジェパリの中で、M&O 側から招聘を受け、ヨーロッパのインテリアデザイン団体へ JCD の紹介と JCD デザインアワードの紹介を、長谷川理事長、小坂副理事長、笠原デザイン賞委員長と出席し、告知を行って参りました。

#### 次期イーストギャザリング

韓国の KOSID が抜けて2年ほど停止していた EG ですが、香港の HKIID から話があり、今回は台湾のインテリアデザイン協会と話をして2016年6月に台北での開催を準備し始めています。

#### (4) 財務委員会（委員長：大道寺祥司）

本年度も、昨年同様菊池顧問公認会計士に会計諸表を作成して頂き、その上で監事2名による監査報告としました。

平成27年度決算については、第1号議案にて詳細を報告致しますが、今年度の事業活動収入は、会費収入は昨年度に比べ正会員は変わりませんが賛助会員数増により約110万円、4.5%の増収となりました。また事業収入は四国開催に伴う総会収入や、各地での研修会、展示会、講習会が活発に行われ、また機関紙 SHOKANKYO への賛助会員の広告協賛いただき、約250万円の増になりました。結果、事業活動収入合計では昨年度決算額より約360万円増、予算に対しても約20万円増の約3,920万円になりました。

事業活動支出合計は、昨年度に比べシンポジウムや機関誌発行等の広報費が約130万円増、総会費用が四国開催に伴い約130万円増、研修会費が約70万円増、Soda 活動のセミナー育成費が約50万円増、展示会費が約40万円増、講習会費が20万円増と事業活動の活性化に伴い570万円増、予算に対しても約130万円増の3,790万円となりました。

以上より、収支差額は昨年度決算額より約210万円減、予算に対して約110万円減になりますが約130万円の黒字を確保できました。

本部及び9支部を個別にみますと、本部と3支部は黒字を確保できました。残りの6支部は事業活性化により赤字となりましたが前期繰越収支差額でカバーでき次期繰越収支差額は黒字を確保できました。しかしうち3支部は次期繰越収支差額が当期収支差額を下回っておりますので累損にならないためにも今期は厳しい予算管理が必要となります。

一般社団法人への移行3年度目としては、全体的に良い結果となりました。

(5) 業務委員会（委員長：星 明臣）

近年の業務委員会活動は、以下の3委員会活動に集約されております。

- 1) Soda 委員会
- 2) 賛助委員会
- 3) 功労者選考委員会 です。

1) ～2) の委員会については、各委員長報告と重複しますので省きます。

3) 功労者選考委員会は芝田委員長が11月に逝去されまして、星が後任にあたりました。

1 : Soda 委員会（委員長：新藤 力）

平成27年度の出前授業形式ワークショップは、関東地区では7/10(金)・11(土)杉並区立和田小学校(6年生89名対象/講師延べ31名)、年が明けて1/13(水)・19(火)・23(土)太田区立蒲田小学校(4年生71名対象/講師延べ30名)、2/12(金)杉並区立浜田山小学校(6年生118名対象/講師20名)、2/16(火)中野区立平和の森小学校(4年生93名/講師15名)の4校で開催。沖縄支部主催では12/3(木)中城(なかぐすく)村立中城南小学校(6年生53名対象/講師・アシスタント25名)、そして四国支部主催で初めてとなるワークショップを、11/17(火)高松市立高松第一学園・第一小学校(5年生106名/講師28名・デザインカレッジ学生26名)で開催することができました。平成26年度から小中学校で始まった月に一度の土曜日授業が定着しつつあり、和田小学校では事前にスケッチ指導を行った上で土曜日に制作・プレゼンテーションを、蒲田小学校では平日に制作した作品のプレゼンテーションを保護者参観の土曜日授業において実施いたしました。両校とも保護者の皆さんに大変好評でした。また、平和の森小学校では図工の先生と共同して図工で使う30cm角のベニヤを利用し、「自分の部屋」をテーマに一人一作品を制作するという新しいプログラムにチャレンジしました。グループ制作とは違った、全員の個性あふれる93作品が完成しました。北海道支部・九州支部におかれましても独自の活動を継続されており、今後連携の強化を図りたいと考えています。

タイアップ事業といたしましては、7/18(土)開催の「六行会チルドレンズフェスティバル2015」において、品川学園の9年生を中心とした自治会(生徒会)が企画した「品学縁日～みんなが楽しめる縁日」のデザイン及び制作の指導をいたしました(フェスティバル当日:中学生32名/講師24名)。屋台11店を制作、今回はSoda委員会も射的(輪ゴム鉄砲)の屋台を出店し子供たちの人気を集めました。7/19(日)関西支部が大阪住まい情報センターと

タイアップした「夏休み!親子 de 体験セミナー/こどもたちと創る商店街」を開催。11/3(火・祝)品川区青少年部会とタイアップしたワークショップ「ダンボールでつくろう、家を、みんなのまち」を開催(講師 10 名)。15 家族がダンボール箱を使った人の入れる大きな作品を制作、これもまた新しいプログラムのチャレンジでした。

そのほか、6/16(火)に建築会館ホールで開催された「子供支援建築会議全体会議・シンポジウム」において、短い時間でしたが登壇し Soda 活動の報告をする機会を得ました。

特筆すべきは四国支部での開催が実現したことで、今後とも全国での開催と継続を目指したいと思います。また、様々なニーズに対応した開催、あるいはプログラムの多様性にチャレンジしていきたいと考えています。おしみなく参加していただく講師の皆様、素材の提供をしていただく賛助会員の皆様、いつも本当にありがとうございます。

## 2. 賛助委員会 (委員長: 森川 一)

当委員会は、正会員と賛助会員の相互のコミュニケーションを活性化させ、JCD の社会的地位の向上を図るために、平成 15 年度に設置された委員会です。賛助会員 3 名、正会員 4 名、で委員会を構成、11 年目の平成 25 年度は当協会の一般社団法人化とも合わせ、「変革期」と位置づけ、以下の項目を企画・推進してまいりました。

### ① 賛助会員の本部・各支部連絡者名簿の更新

本部、各支部からの各種連絡事項の賛助会員の窓口となる連絡者の名簿を随時更新し、最新版を本部、各支部にて活用できるよう推進しました。今年度も随時、賛助会員各社の名簿の電子化を本部事務局にて図ってもらいましたので継続して、更新見直しがし易くなっております。

### ② 「JCD Product of the year 2016」の実施

JCD Product of the year は、関西支部から提案がありました、「賛助会員会社はその年の 新商品を応募、正会員が投票し評価する」イベントです。今年は 10 年目ということで、継続実施と一昨年から新たな施策である支部賛助会社の参加も募り広く商品を会員に対して PR する事を第一にしました。昨年同様、第一回目の課題対応の為に電子投票方式からファイルの配布形式にしました。

今年度は、賛助会員から 42 点という過去最高の応募がありました。特に本年度は昨年提起のあった支部賛助会社の参加も 3 年目となり、新商品応募点数は昨年に比べ 7 点の増加となり、10 年の節目にまずまずの結果を残せたのではないのでしょうか。賛助会員企業では、正会員への新商品の認知を期待していますので、引き続き来年度以降も多くの正会員の方の投票をよろしくお願いします。

賛助会員におかれましては、新商品の正会員への認知に役立ちますし、ファイル形式にしたことで、次回まで 1 年間正会員の手元においていただけますので奮って応募をよろしくお願いいたします。

尚、今後は活動の幅を広げるためにも非会員の参加も視野に入れた行動を行います。

プロダクトアワードに限りましては、賛助企業会員における JCD の魅力アップのため、引き続き賛助会員全体への参加の幅を広げると共に新たなる施策も検討します。また、ここ 10 年に亘る一連の作業で正会員および賛助会員の方の E メールアドレスが把握でき、今後のインターネットを活用した情報連絡網構築の礎になりました。一部正会員の方でまだ E メールアドレスを本部事務局にご連絡されていない方は、引き続きスピードアップ、コスト削減のために随時、事務局へご連絡いただきますようお願いいたします。

### ③ 賛助会員の拡大

引き続き JCD の発展への協力のため賛助会社の加入拡大のため、PR 活動を進めますが、過去より、日頃正会員皆様のお仕事上での繋がりのお声かけの協力が非常に大きいため引き続きの勧誘をお願いします。現在全国賛助 64 社、支部賛助 70 社となっております。

### 3 : 功労者選考委員会（委員長：星 明臣）

当委員会の主務は、当協会 特別功労賞表彰規定等に則り、「JCD 功労賞・支部功労賞」及び「名誉会員・評議員」「顧問・参与」の役職候補者の推薦を会員から募り、推薦された各候補者の貢献度などの与件を審議する。結果、該当する候補者を理事会に推挙します。

肝要なことは、誤謬なき、適正な推挙を心がけること。

本年度の功労者選考委員は、昨年度に引き続き、小田 秀樹/関東支部長・小坂 竜/副理事長・白井 進/副理事長・大道寺 祥司/財務委員長・太細 通/専務理事・山田 悦央/評議員・星 明臣/業務委員長です。

### 27 年度活動報告

12 月 21 日 全国 各支部長宛、「候補者推薦依頼書」など配信

2 月 15 日 全 募集締め切り

2 月 18 日 応募者推薦状況などを功労者選考委員会、各委員へメール送信  
委員間の意見交換

3 月 19 日（土）午前 功労者選考委員会開催 → 推挙者集約

3 月 19 日（土）午後 平成 27 年度第 1 回臨時理事会へ推挙 → 決裁

5 月 28 日（土）総会にて表彰（予定）

他に、「国交省大臣表彰」候補として飯島理事を推挙いたしました。当件につきましては、関西支部、山田評議員と山辺事務局長が任にあたっています。

### (6) 支部長会議（議長：加藤博正）

今年度の支部長会議は、11 月におこなわれる理事会に先立ち同日に支部長会議がおこなわれた。

今期の議題は、JCD を支える重要なテーマ、準会員を各支部の考えに基づいて意見を交わしたがそれについては、全国共通の認識では難しくもう少し状況を判断する必要があるとの結論である。

## (7) 支部事業

### 北海道支部（支部長：高橋 恵）

平成 27 年度の事業方針

「デザインにおける社会貢献を軸に、参加してもらえ活動・仲間づくり」

#### 運営会議

【概要】 正会員同士の交流と北海道支部の活動について議論を行う。

【日程】 毎月 第一水曜日に開催しました。

#### 北海道支部総会

【概要】 平成 26 年度活動及び収支報告、平成 26 年度活動計画、予算（案）承認など

【日程】 平成 27 年 4 月 15 日（水） センチュリーロイヤルホテルにて

#### 北海道支部工場見学会

【概要】 レンタカーを借りて、旭川、滝川等の工場見学

【日程】 平成 27 年 9 月 17 日（木）

【会場】 (株) ノーザン（賛助会員企業）、滝澤ベニア工場、空知単板工業工場、道央ランバー

【成果】 8 名の方の参加。普段なかなか交流が持てない旭川にある賛助会員企業を見学することと、その他何か役に立ちそうな工場等を見学し、普段みれない所を見学させてもらい刺激になりました。

#### SAPPORO DESIGN WEEK 2015 への参加

【共通日程】 平成 27 年 10 月 21～25 日

【メイン会場】 札幌駅前地下歩行空間

【概要】 第 2 回 JCD 北海道デザインアワードを開催

【日程】 会期中の応募作品のパネル展

平成 27 年 10 月 23 日（金） 最優秀賞の発表と授賞式を開催

【会場】 札幌駅前通地下歩行空間チ・カ・ホ札幌側イベントスペース

【ゲスト】 審査委員長に橋本夕紀夫氏をお迎えし表彰式を行いました。

【成果】 17 点の応募を頂き、パネル展も開催する事で JCD のことを知って頂く良い機会になりました。今回は、事前に橋本夕紀夫さん、飯島直樹さん、笠原英里子さん、小坂竜さん、武石正宣さんに審査をお願いし受賞作品を決めて頂きました。早々たる 審査員の前に出す作品がないからと 出されなかった方もいらっしゃると思いますが今回は、キタサン広場という場所をかりてプレゼンも行い前回の反省点

を少しは、改善できたのではと思いますが、来年以降もう少し作品応募を増やす為に努力をしていきたいと思っております。

#### Soda 桑園小学校

- 【概要】デザインを通しての社会活動。おみせづくりをテーマに自由にデザイン作業に取り組む。専門家が講評・評価し、子供達に新たな発見や発想の機会を見いださせる。
- 【日程】平成27年 一回目 12月2日 二回目 12月8日 三回目 12月15日
- 【会場】桑園小学校 札幌市中央区北8条西17丁目
- 【対象】6年生127名 16チーム
- 【講師】JCD会員8名 賛助会員1名 ボランティア2名 その他素材ご提供企業多数
- 【成果】デザイン、仕事の楽しさを伝え、店舗の模型制作を通して楽しく作業してもらいました。プレゼンの大切さも理解してもらい。プレゼンテーションにも凝って発表してくれました。

#### クリスマスパーティー

- 【日程】平成27年12月17日（木）
- 【参加人数】50名程度
- 【会場】クロスロード 札幌市中央区南6条西4丁目サイバーシティビル2F
- 【成果】毎年JCDとHIPA北海道インテリアプランナー協会との合同の恒例の行事です。

#### 鍋塾

- 【日程】平成28年2月26日（金）
- 【参加人数】14名
- 【会場】大漁舟盛り居酒屋 大海物語札幌市中央区南5条西3丁目Nグランデビル2F
- 【成果】今年は、もつ鍋を囲みながらデザインについてみなさんと熱く語りました。

#### 東北支部（支部長：阿部秀夫）

H27/07/17：東北支部幹部会議開催

- ・平成27年度本部総会報告
- ・平成27年度支部総会準備会議
- ・懇親会

H27/10/02：平成27年度JCD東北支部総会開催

- ・宮城地区にて開催
- ・平成28年度以降の活動内容検討
- ・平成28年度以降の支部組織検討
- ・賛助会員商品説明会
- ・懇親会

H28/01/23：福島地区新年会開催

- ・新会員の顔合わせを兼ねて支部幹部も多数参加

H28/03/22：支部正会員作品発表会

- ・学生も多数交えて、ディスカッション
- ・懇親会

JCD 東北支部平成 27 年度各地区活動報告

青森地区

特に活動はしませんでした。

岩手地区

地区会員の現状把握と啓蒙活動を行いました。

秋田地区

特に活動はしませんでした。

宮城地区

支部活動に準じて活動いたしました。

山形地区

具体的活動はできませんでした。

福島地区

新会員の顔合わせを兼ねて、支部幹部も多数参加していただき、新年会を開催いたしました。

関東支部（支部長・小田 秀樹）

■ 会員への情報発信を充実させ会員相互のコミュニケーションを促進させる

関東支部の HP・Face Book を活用してイベント情報の発信を充実させ、会員相互の交流を図ると共に会員増強の為、同業者や一般の方にも JCD の活動を発信し、イベントに参加者を集い会員獲得に、結びつける。

■ 研究セミナー委員会：高村委員長（代理：小田 秀樹）

1) 4月16日（木）：青山・COMMUNE 246にて開催

- ・NPO 法人 FLAG 福理事・TOHO Agency inc クリエクティブディレクターの佐藤 竜馬氏をパネラーに招き「米軍ハウス」から始まる、新たなコミュニケーションを開催した。

2) 8月関東支部「夏のパーティー開催」の為、調整

3) 11月13日（金）本部デザイン賞委員会における贈賞式等の開催の支援。

4) 12月関東支部「冬のパーティー開催」の為、調整

5) 2016年1月28日（木）オカムラ Visplay ショールームにて開催

- ・SUGAWARA DAISUKE 代表 菅原 大輔氏をパネラーに招き「建築と内装の間」を開催した。

■ 支部賛助委員会：品川委員長

1) ほぼ月1回（4/1、5/8、6/3、7/1、9/2、10/7、11/4、1/12、3/9）の定例委員会を開催し、JCD 正会員、賛助会員相互の向上のため意見交換を行なった。また後半には毎回数名の正会員に参加をお願いし、正会員との交流を図る。

- 2) 1月の定例委員会はSoda委員会との合同委員会として委員会相互の交流を図った。
- 3) 賛助委員会相互の親睦の為、5月16日(土)神奈川県愛甲郡愛川町中津川マス釣り場にてBBQ会を、また8月7日(金)、12月13日(日)熱海海上花火見物会を催した。
- 4) 広報委員会と連携して、関東支部機関誌に賛助会員企業の紹介記事を掲載した。
- 5) 全国賛助委員会にオブザーバーとして関東支部賛助委員長及び賛助会員数名が参加協力をした。
- 6) 平成28年3月1日現在、支部賛助企業は28社となっている。

■省エネCO2削減委員会：芝田委員長(代理：小田 秀樹)

※支部会員宛、セミナー・イベントの協賛・案内・勧誘

- 1) 昨年に引き続き“LED照明シンポジウム2015/JIEDS LED照明推進協議会 主催”特別優待枠10名を確保いただいた。関東支部会員にEメール/事務局発信・Face Book活用
- 2) 前年に引き続き、関連情報の集約・発信を行なう。  
当該業界情報の枠を拡大し、エコ技術・商材・商品情報以外の先行する住宅・オフィスに関する情報も含め、集約・発信を行なう。
- 3) JCD 賛助会員企業の該当商品・商材・技術・取り組み姿勢等の情報提供を求め、賛助会員企業とのコ・ワーキング体制の構築を図る。
- 4) 来期から名称変更や活動方法を含め、他委員会との合併を検討する。

■広報委員会：古川委員長

※関東支部機関誌を年3回発刊

- 1) 第1回目発刊(8月末)総会特集・関東支部研修旅行(竹富島・小浜島/星のリゾート含む)支部賛助委員会主催の熱海花火大会など
- 2) 第2回目発刊(11月中)トクトーク報告・関東支部クラブ活動報告(サーフィン・ゴルフ軽音楽)・あこのころ〜JCDの重鎮(前田利昭氏)・夏のパーティー報告・Soda活動報告(中村雅子氏)賛助会員活動報告(アルプス株・原康喜氏)・支部会員募集広告・新人会員紹介・賛助会員広告
- 3) 第3回目発刊(3月末)トクトーク報告(水谷晶人氏)・会員近況(中村茂雄氏)・クラブ活動報告(サーフィン・軽音楽)・あこのころ〜JCD重鎮(藤井一比古氏)・冬のパーティー報告  
・Soda報告(木村倫香氏)・賛助会員活動報告(冬の熱海花火大会)・支部会員募集広告  
・新人会員、支部会員の紹介・賛助会員広告

※第2回発刊から関東支部賛助広告枠を設けた。賛助会員広告枠は、1枠A7サイズ(縦74ミリ/横105ミリ)〜8枠A4サイズ裁ち落とし、第3回目から全国賛助にも拡大、¥5,000円にて、特集ページの作成や各ページ下部に掲載を検討

■メディア委員会：吉田委員長

- 1) 支部長の推進により、28年度からWIXと新規契約し、ドメイン取得やレンタルサーバー共に新規契約し、関東支部HPの一新を関東支部、正副支部長・委員長会議で決定

- した。
- 2) Face Book ページを作成し、その活用によりイベント情報はバックナンバー化が可能となり TOP ページに貼付けた事で、イベント情報のクイックリーな対応も可能になった。
  - 3) ブログの活用については、Face Book ページ情報以外のイベント状況の更新を行なった。
  - 4) JCD 事務局からのメール発信を指示したことで、正会員 HP のリンク数の増加に繋がった。
  - 5) 本部の全国・支部賛助会員情報ページとのリンクで、最新情報の更新が可能になった。

#### ■交流委員会：折原委員長

- 1) 7月29日・表参道「ル・コンテ」にて夏のパーティーを開催  
テーマは「日本で活躍する外国人デザイナーに聞く VOL1」と題して「グエナル・ニコル」氏を迎えて日本へ来日してからの事、取り組んでいる試み、作品に至るまでを、窪田副委員長と対談方式で行なった。  
来場者は100名超えの107名、賛助会員ブースも6社、学生の参加も多く普段と違った活気の有る会と成りました。今回は支部会員募集のチラシも制作して会場で配布した。現在、「グエナル・ニコル」氏は正会員に、関東支部会員は3名になりました。
- 2) 12月3日・渋谷シダックス「東京メインダイニング」にて冬のパーティーを開催  
今回は「JCDバンド」と日建スペースデザインのメンバーが構成する「片山工務店バンド」・賛助会員で構成する「奥バンド」の個性豊かな3バンド競演で多いに盛り上がり、参加人数も133名と過去最高のイベントと成った。

#### ■特別委員会：星委員長

支部研修旅行「冬こそ北陸」を2月7日～8日に実施し、正会員・賛助会員15名の参加をいただきました。

7日は、金沢市内の美術館や歴史的建造物等を視察、夜は高岡市在住のデザイナー及びクリエーター6名の方々と交流して親睦を深める事が出来ました。席上、Soda 活動等をアピールしてワークショップへの働きかけをしました。

8日は、能登半島周遊バスで輪島や羽咋（はくい）などの町を訪れ、独特の風土や祭事、工芸などの知見を深める事が出来ました。これ以上望む事もない好天に恵まれた研修旅行でした。

#### 中部支部（支部長：不破淳二）

2015

5月

○JCD 中部支部会議 1

5月20日（水）： ナディアパーク 7F ラボ 10号会議室

・会員増強にむけた方策検討ならびに今後の運営について

## 6月

### ●『JCD 定時総会』

5月31日～6月1日（日、月）：（四国支部、高松開催）

- ・定時総会会議の参加

中部支部より支部長不破、鳥居会員、丹羽会員等3名が参加

## 7月

### ●『JCD 中部支部総会』

7月1日（水）： 美食みその亭

- ・四国での定時総会の報告 及び支部活動報告、支部活動計画を行う。

サマーパーティを兼ねた正会員、賛助会員34名で開催

○本部 Soda 事業に参加

7月11日（土）：（杉並区、和田小学校）へ亀井会員研修参観

新藤委員長ならびに委員の皆様に Soda 事業のご指導をいただく

## 8月

○JCD 中部支部会議 2

8月26日（水）： ナディアパーク 7F ラボ10号会議室

- ・第2回中部支部ヤングアワード開催に向けて
- ・Soda の支部事業化説明
- ・デザイントリプレックス12（JCD, DSA, SDA 3団体イベント）協議

## 9月

○JCD 中部支部会議 3

9月16日（水）： ナディアパーク 7F ラボ2号会議室

- ・第2回中部デザインアワード2015（ヤングを改名）応募案内パンフ  
応募基準等の詳細決定、開催期間等実施スケジュールの確認

## 10月

○JCD 中部支部会議 4

10月26日（月）： ナディアパーク 7F ラボ2号会議室

- ・第2回中部デザインアワード2015の中間報告
- ・デザイントリプレックス12（2月）の報告

中部支部 下半期（平成27年11月～平成28年4月）活動報告

## 11月

○JCD 中部支部会議 5

11月25日（水）： ナディアパーク 7F ラボ2号 会議室

○「メッセナゴヤ2015ーデザインなんでも無料相談」 期間11月4日～7日

名古屋商工会議所＋中部デザイン団体協議会（CCDO） “それはデザイナーに聞け”

亀井会員、横井会員が講師参加

## 12月

○JCD 中部支部会議 6

12月16日（水）： ナディアパーク 7F ラボ10号 会議室

年内最終の会議、中部支部アワードの結果ならびに新年会パーティの計画報告  
終了後有志参加者の忘年会開催

2016

1月

●『JCD 中部支部デザインアワード』

・エキシビション：

1月6日（水）～ 10日（日）： 国際デザインセンター4階 デザインギャラリー展示

・贈賞式&JCD 中部支部新年会：

1月6日（水）： 会場 ダウンタウンピアバーナ名駅店

正会員、賛助会員、受賞者、一般で開催

●中部北陸、空間デザインフォーラム 1月26日（火）～1月30日（土）

30日（土）デザインフォーラム （富山大学芸術文化学部：開催）

2月

●『デザイントリプレックス12』

2月12日（金）～21日（日）：

・エキシビション：セントラルパーク、セントラルギャラリー（2万人/日：通行）

（JCD, DSA, SDA）2015年度3団体受賞作品およびJCD 中部アワード

同時展示

・シンポジウム：2月16日 ※名古屋パルコ8F、センチュリーシネマ

「挾土秀平氏+神谷利徳氏」土の息、空間の粋 対談

・パーティ：会場 ※パルコ西館10階 ディアス

シンポジウム出演者、関係者、来園者参加の親睦パーティ

3月

●JCD 中部支部会議 7

3月末日（未定）： デザイントリプレックス12 他事業反省会 予定

関西支部（支部長：長町志穂）

■実施活動報告

1. 支部集会の実施 6月15日（月）「ザ・ガーデンオリエンタル大阪」（旧大阪市公館）にて。

参加者数 48名

歴史ある施設のリノベーション活用事例の見学と合わせて非常に好評を得た。

2. SODA 事業 実施 7月19日（日） 大阪市住まい情報センター 参加者40名

地元商店街の見学後に親子で店舗模型を制作。本年も非常に講評を得る。

正会員のサポート参加率も高く会員イベントとしても重要なイベントとなっている。

28年度の大阪市タイアップ事業にも参加を要請されている。

3. 関西学生シンポジウム 10月12日（金）グランフロント大阪・サンワカンパニーSR 17:30～21:00

「フェアリーテール」をテーマに、4団体（4校）の学生が発表。  
JCD チームは大阪モード学園学生。当会コメンテーター：東潤一郎

本年は「コトのデザイン」として当日の懇親会デザインも学生が実施。

同時期開催の JID「ISUandKAGU TEN」とも連動し盛況に終る。

4. 「大阪デザインサロン」 SEMBA サロン
- 第 23 回 「ポスト産業資本主義社会のデザインについて」 (4/10)
  - 第 24 回 「「入母屋造りの農家」組立ペーパーボックスはなぜ生まれてきたのか」 (4/24)
  - 第 25 回 「カッティングマットで自社ブランドの確立・知名度アップをめざす」 (5/15)
  - 第 26 回 「謎の素材『炭素繊維』を使ったシート状椅子構造体の開発秘話」 (10/2)
  - 第 28 回 「欧州最大級のインテリア・デザイン見本市メゾンエオブジェの視察報告」 (10/9)
  - 第 32 回 「デザイン仕事から中国趣味へ深入り」 (10/16)
  - 第 33 回 「優しさのものづくりって何？」 (10/23)
  - 第 34 回 「『プロボノって？』仕事で培った経験・スキルを活かした社会貢献活動」 (10/30)
  - 第 35 回 「デザイナー目線で海外の TECH カンファレンスに飛び込んだ体験談」 (11/6)
  - 第 26 回 「ロンドンデザインフェスティバルと魅惑的なウィーン・プラハのユークレメントスタイル」 (11/13)
  - 第 39 回 SENBA サロン 「知的財産権の取得と活用 意匠と著作権のちがひ」 (12/4)
  - 第 40 回 SENBA サロン 「壁紙が主役の空間づくり」今西俊暁氏 トキワ工業株式会社」 (12/11)
  - 第 27 回大阪デザインサロン 「旅の水彩画”見る・食べる・遊ぶ” るるぶの会」大菅満義氏 (12/18)
  - 第 42 回 「「新年会&デザイナー年賀状展『申』」 (1/8)
  - 第 28 回大阪デザインサロン 「建築・インテリア分野で企画した見学会の報告」 (1/22)

第 29 回大阪デザインサロン「時代の流れとサインデザインの歴史について」(2/5)

第 30 回大阪デザインサロン「描くチカラは、伝えるチカラ」

(3/18)

\*開催回数表記が前後しますが、SENBA サロンと大阪デザインサロンが混在のためです

5. 日本の空間デザイン展 2015 11 月 20～24 日 サンワカンパニー大阪ショールーム (グランフロント大阪)

6. クリスマスパーティ& トークショー&ライブ 12 月 8 日 (火) モエラドにて実施 参加者 121 名  
スピーカー: 橋本健二・間宮吉彦・徳田裕司・堀内弘誓によるジャンルを超えたデザインディスカッション。ライブは、関西支部橋本健二氏のバンドをはじめ、デザイン関係者で活動されている 2 バンドが演奏を行った。

7. その他活動 ■トークセミナーへの協力  
協賛企業からの依頼により JCD 関西メンバーによるトークイベント協力。

マリスト大阪 SR にて (長町志穂・間宮吉彦) (5/27)

■中小企業基盤整備機構商品評価への参画 山田評議員に委託(10/14)

■「第 7 回大阪市あきないグランプリ」審査員委嘱  
組織委員会・東潤一郎及び評議員山田悦央 (11/13)

8. 受賞等 ■衣笠理事が JCD 関西での活動を評価され、大阪市表彰を受ける

\*受賞経緯詳細は衣笠氏より報告

■事務局吉田氏が「大阪デザイン振興機構」として 大阪市表彰を受ける。

3 月 25 日 祝賀会予定

#### 中国支部 (支部長: 深田勝哉)

27 年度の中国支部の活動方針、「地域に必要とされるデザイン・デザインによるコミュニケーション」をテーマに活動してきました。会員活動の環境作り、正会員・賛助会員が参加できるようになったと考えています。中心となっている広島、岡山だけでなく中国 5 県全県での活動を引きつづき強化して、各地域とのかかわりを明確にし、地域にとってなくてはならない団体としてあり続けたいと考えていましたが、思うようにはできませんでした。そして、若い新会員も増やしましたが、退会者もでうまくいっていないのが現状です。

## ■27年度事業内容

### ○組織改革

今まで活動の中心となっている会員と、次の世代を担っていく若い会員で新たな組織を作り、若い会員が活動しやすい環境なったと考えています。

### ○地域活動

広島で続けてきているデザインイベント「広島デザインデイズ」は課題を残しつつも着実に地域に根付いていきつつあります、今後もさらに中身の濃いイベントとして盛り上げたいと考えています。

### ○例会活動

本部、支部からの連絡事項、支部内の審議事項、活動予定打のち合わせなどに加え、賛助会員によるミニセミナーも定着してきました。

### ○親睦活動

通年一例会後、各地での懇親会、賛助会員によるミニセミナー。

秋――デザインツアー、中四国合同での沖縄親睦ツアーを開催しました。

### ○スケジュール

- 4月 JCD中国支部総会及び例会 27年度事業計画発表、委員会編成
- 5月 27年度定時総会  
広島デザインデイズ 2015 第一回準備委員会
- 6月 第2回 中国支部例会（総会報告）  
広島デザインデイズ 2015 第二回準備委員会
- 7月 広島デザインデイズ 2015 第三回準備委員会
- 8月 第3回 JCD中国支部例会 中国支部 ビアパーティー  
広島デザインデイズ 2015 第四回準備委員会
- 9月 広島デザインデイズ 2015 第五回準備委員会
- 10月 中四国合同での沖縄親睦ツアー  
第4回 JCD中国支部例会
- 11月 広島デザインデイズ 2015 第六回準備委員会
- 12月 広島デザインデイズ 2015 本番  
中国支部大忘年会&クリスマスパーティー
- 2月 第5回 JCD中国支部例会、来季の計画調整会議

### 四国支部（支部長：香川眞二）

①平成27年度定時総会が高松で行われました。4・5月は、正会員・支部会員・賛助会員の皆様それぞれにその準備で役割を果たし、お陰様でよい天候にも恵まれ、皆様の協力で総会を終えることができました。ありがとうございました。

②今年度からやっとSODA事業で11月17日に高松第一小学校にて、5年生（103名／3クラス／18グループ）で執り行うことになりました。JCDの社会における役割を感じ次年に続けられるように進めていこうと思います。

③ 10月2・3・4日と沖縄支部・中国支部・四国支部との合同例会及び交流会と、大変有意義な、貴重な3日間をありがとうございました。この場でも御礼申し上げます。来年も中・四国支部の海外研修合同例会を執り行えればと思います。

④ 3月12日(土) 香川デザインフェュージョン/デザインアワードパネル展・映画祭(香川県社会福祉センター1F コミュニティーホールにて)の開催します。JCD・SDA・JIA・香川デザイン協会4団体合同でパネルの展示会と、幅広い層の方に各協会の活動を認知していただく機会を設けました。また、映画祭にて、世界の超一流と呼ばれる建築家が一同に会し、迫力あるディスカッションを撮った映像を、デザインを携わる多くの人に知っていただけるよう、各方面(デザイン系の学校方面)にも働きかけ、「一流を知る」きっかけづくりに努めました。

⑤ 地方支部における課題・・・

・ 現会員の高齢化による会員数の減少 ・ 新規正会員の増員を図る(支部会員:現在5名)

・ SODA事業を通じてのJCDの役割とは?

**【四国支部活動内容】**

- ・ 4月 …4/4(土) 例会、花見懇談会(雨天中止)、H27年度四国総会準備実行委員会、
- ・ 5月 …委員長会(5月中旬)、H27年度四国総会準備実行委員会、  
5月31日 27年度定例理事会・定時総会
- ・ 6月 …例会、会員レポート
- ・ 7月 …委員長会
- ・ 8月 …例会、アウトドアビアパーティ交流例会、会員レポート
- ・ 9月 …委員長会
- ・ 10月 …例会 他支部との合同例会(研修交流会 in 沖縄)  
参加支部: 沖縄支部、中国支部、四国支部
- ・ 11月…委員長会、11/17(火) SODA事業開催(実施校: 第一小学校)
- ・ 12月…12/18(金) 例会(忘年会)、会員レポート
- ・ 1月 …委員長会(新年会)
- ・ 2月 …例会 合同例会、委員長会、会員レポート: 2/25(木) デザインセミナー(LIXIL)
- ・ 3月 …委員長会、3/12(土) 香川デザインフェュージョン開催  
(香川県社会福祉総合センター1F コミュニティーホール) 映画祭・トークセッション・パネル展を実施

**九州支部(支部長: 原田啓二)**

- (1) 月例会の開催(毎月第三金曜日開催) エイムクリエイツ打合せ室をお借りし、支部活動のミーティングや情報交換など行いました。賛助会員の商品紹介やセミナーなども、例会の中で開催し懇親会なども頻繁に行いコミュニケーションをとりました。
- (2) 5月 FUKUOKA デザインリーグ理事会及び総会参加 NPO 法人「FUKUOKA デザインリーグ」に今年度も積極的に参加しました。月例会など業務委員会が担当窓口となり、JCD としての役割を遂行しました。

- (3) 6月支部レクリエーション開催～有田焼窯元製作体験 交流委員会が中心となり、毎年恒例の有田焼大乘窯元のご協力により、会員と家族同伴で製作体験しました。土こねからの体験は大変貴重なものとなりました。
- (4) 7月支部ブログに会員紹介を順次開始 支部ホームページのブログコーナーに、広報委員会が会員を独自取材を行い、順次会員紹介のコーナーを開始しました。日頃の仕事風景やファッション紹介など、コミカルに取材し、日頃と違った会員の側面を楽しめるものとなっています。
- (5) 9月～12月 新天町デザインプロジェクトの実施 専門学校の学生による、公共スペースの活性化プランニングとそのプレゼンテーションを、新天町商店街に行いました。支部としては業務委員会が中心となり、その実行に向けた各方面との調整と、プランニングのブラッシュアップを行いました。
- (6) 10月 JCD デザインアワードパネル展開催 今回よりパナソニック福岡ショールームを会場とし、SDA 共同パネル展を開催しました。従来の会場より会場立地の向上に伴い、来場者数のアップにつながりました。
- (7) 11月 デザインスクールキャラバンの開催 今回で17回目となる出張出前授業は、南当人小学校の5年生全員で行いました。テーマは「一度いきたい！未来の町～南当人共和国」です。今回も学生を臨時 JCD 会員に10名程迎え入れ、子どもたちのお兄さんのように動いてもらい、小学生のテンションも大変アップし楽しいものとなりました。
- (8) 忘年会・新年会の開催 賛助会員共々盛大におこないました。

<総括> 九州支部の活動の柱である、デザインスクールキャラバンも17年を迎え、毎回高い評価を頂いています。それとは別に、今回初めての試みであったデザインプロジェクトは、新天町商店街を舞台に試行錯誤しながらも、九州デザイナー学院と合同開催する事ができました。商店街からも高評価をいただき、新聞取材などもしていただき、支部としては大変意味のあるものとなりました。まだまだ継続活動するにはたくさんの問題を抱えていますが、一過性にならない様議論を重ねていきたいと思えます。

そんな活動を通したの中で少しずつではありますが、会員数の向上もできました。引き続き、社会貢献活動を行いながら、団体を広く認識して頂ける様活動して参ります。

#### 沖縄支部（支部長：山里健市）

- H27年4月 ◇支部定例会の開催  
今年度の活動計画について 各委員会との意見交換
- 5月 ◇インテリア産業協会・インテリアコーディネーター協会・JAGDA との交流会に参加。今後、共有できそうなイベント等の 意見交換を行いました。
- 6月 ◇支部定例会の開催  
各委員会活動報告

8月 ◇支部定例会の開催  
各委員会活動報告  
◇夕涼みバーベキュー&ボウリング開催（正会員・賛助会員・ゲスト）  
JCD とは？をテーマに企画や、JCD の活動等を 再発信。  
≒70 名の参加があり、さまざまな意見交換 等を行う事ができ、賛助会員の入会にも つながりました。

10月 ◇支部定例会の開催  
各委員会活動報告  
◇コンベンションセンターにて開催される「トータルリビングショー」へ今年も参加。インテリア産業協会のブースにて JCD 沖縄支部は来場者の子供達を対象に店舗模型を製作。3 日間で ≒120 組の来場があり、引き続き継続できるイベントとなっています。  
◇中・四国支部との合同交流会の開催。  
琉球ガラス体験等、沖縄支部内でも初めてという人が多く、一緒になって、楽しむことができました。3 支部の会員同士が、ざっくばらんと交流、意見交換でき、とても有意義な交流会となりました。

12月 ◇支部定例会の開催  
◇SODA ワークショップを 中城南小学校 6 年生を対象に行いました。  
児童数 53 名を対象に 10 グループに分かれ、本部から 1 名 インテリアコーディネーター協会、インテリア産業協会の協力も頂き、予定通り開催できました。  
◇JCD 忘年会(モノズクリガンバッタ 2015) の開催。  
建築・インテリア・グラフィックというカテゴリーを設け、≒70 名の方々に参加頂いた。1 年を振り返ると共に、新しいデザインコミュニティの場（忘年会）として定着させていきたいと思ひます。

2月 ◇支部定例会の開催

#### 総 評

SODA ワークショップについては、年 2 回の開催目標を達成できませんでしたので、次年度は、なんとか達成できるよう、会員同士で模索していきたいと思ひます。  
交流・イベント事業としては、企画・実行レベルも向上し、集客も少しずつですが増え、今後の正会員・賛助会員の入会へと繋げていきたいと思ひます。

### 3. その他会務に関する事項

#### (1) 会務などの状況

総会（1回）

平成27年度定時総会

期日：平成27年5月31日 会場：サンポートホール高松

社員出席：245（内委任状149、議決権行使46）名

理事会（3回）

第1回定例理事会 期日：平成27年5月31日 会場：サンポートホール高松

出席理事：18名

第2回定例理事会 期日：平成27年11月14日 会場：JCD事務局

出席理事：20名

第1回臨時理事会 期日：平成28年3月19日 会場：JCD事務局

出席理事：18名

#### (2) 関係団体や機関との交流、事業への協賛など

空間デザイン機構（(公社)日本サインデザイン協会、(一社)日本空間デザイン協会、(一社)日本ディスプレイ業団体連合会と共同）において、活動に担当を派遣し企画、JAPAN SHOP 2016に参加した。

また、京都芸術デザイン専門学校「卒業制作展・進級制作展2015」、商業施設技術団体連合会「第13回主張するみせ 学生デザインコンペ」、テンポロジー未来機構「TEMPOLGY Vision2015 き・づ・く・り文化のある暮らし Vol.10-現場から生み出すイノベーション」、株式会社中川ケミカル「第19回CSデザイン賞」、日本経済新聞社「JAPAN SHOP 2016」「建築建材展2016」「LED NEXT STAGE 2016」、日本ショッピングセンター協会「第40回日本ショッピングセンター全国大会」、一般社団法人日本能率協会「第44回ホテル・レストランショー」、BCウッド日本事務所「第12回グローバル・バイヤーズミッション BCウッド国際展示会・カナダ大規模木造&CLT建築物視察ツアー2015」特定非営利活動法人ユニバーサルイベント協会「ユニバーサルキャンプ in 八丈島」等への協賛・協力を行った。

### 4. 会員の移動状況

	26年度期末	年度内増	年度内減	27年度期末
正会員	408名	20名	22名	406名
賛助会員	129社	16社	11社	134社
名誉会員	12名	0名	0名	12名

## 5. 正会員の資格喪失に関する事項

定款第9条（資格の喪失）による、本年度の正会員資格喪失者は次の22名である。

・退会申し出による者 20名

（北海道支部） 金田吉朗

（東北支部） 片島 徹

（関東支部） 浅野千尋、香野勇雄、碩 昭博、羽田良美、面出 薫

（中部支部） 味岡伸太郎、大国護益大、大角治雄、尹 鴻

（関西支部） 市川邦治、北村晏南、長岡 茂、西澤嘉信、松本浩作、三輪清茂

（中国支部） 赤木治仁、吉山 聡

（四国支部） 石塚万嬉

・死亡による者 2名

（関東支部） 芝田良治、高村裕之

注：昨年度（平成27年度）総会資料P24にありました、

### 5. 正会員の資格喪失に関する事項

・会費未納による者 4名 のうち

（関東支部） 黒坂伸也

については、所属企業の事務手続きの不手際により会費が支払われていないことを本人は知らないことが判明し、その後本人から未納会費の納入がありましたので、「会費未納による者」を取消、正会員継続に戻します。